

社会福祉法人童里夢 令和5年度の法人運営について（みなさんと一緒にめざすもの）

『共に汗し、共に笑い、共に語ろう！』をカタチにする

※事業・福祉サービスとして地域社会に提供する

事業運営に対しての令和4年度の実績は準備不足、拙速感もあり結果として積み残し課題も多い。しかし、事業の安定化、発展のための手段としての取組みと方向は間違っていないと確信している。前年度の反省も踏まえ、事業形態の変化に向けた対応と準備、また安心して働き続けることのできる職場環境づくりのための課題を再整理して令和5年度以降の事業運営に臨み、法人の運営する全ての事業の安定化、発展できる礎をあらためて作り直す覚悟で事業の組み立てをすすめる。

社会の変化、福祉サービスの変化、利用者ニーズの変化に対応できる事業所づくりのため、顕在化、また潜在的な課題・問題等にも目を向け迅速に対処する。※重点課題として列記

法人、及び各事業の運営体制を大きく見直し、各種会議の在り方を整理して事業所間の連携・協力体制を整える。

令和6年度には、新規職員（新卒）の採用と共に大幅な職員の異動・配置転換を見込み、人材育成、各事業所の活性化を通して未来への道筋をつける。業務の属人化を防ぐための兼務、ジョブローテーションは必須であると考え、各人、各事業への影響等を考慮しながら継続する。変化は困難、不安等を伴うものであるが、今後の事業の形を模索、そして提示する中、丁寧な説明と活発な議論を通して全職員の共通理解と協力のもとすすめる。

事業所間格差（運営・管理能力、収支バランス、支援力、他）の是正、業務負担の平準化に取り組み、一人ひとりの職員、そして事業所間のやり取り（情報共有）が活性化するしくみと整え、『お互いを尊重し、認め合い、そして主張する！』組織づくり、職員の育成をめざす。

職員の処遇の改善、向上に取り組むためにも事業の安定・発展は必須であり、支援の質をより高め、利用者（家族）から選ばれる魅力ある事業所になる努力を継続する。

また、社会福祉法人の責務として地域課題にも目を向け、連携・協働に基づいて「地域への貢献」を目標として取り組み（地域における公益的活動、他）を活性化させる。

《 童里夢の基本方針 》 ※法人の全ての活動、運営・組織の在り方

- 「社会に存在する何人とも認め合い、助け合い、許し合い、共に生きていきます」
- 「地域社会とのつながりを大切にして、地域共同ネットワークづくりのために努力します」
- 「障害者一人ひとりが、主体的な人生を送るために自律の支援を追求します」
- 「障害者の社会参加に必要な情報を収集し、障害者理解に必要な情報を発信します」
- 「障害者に必要なサービスを継続的に提供できるように、時代に合わせて変化し続けます」

重点課題

1. 基本理念、事業運営方針等を全職員で理解・共有する。
社会福祉法人童里夢の成り立ちからめざすもの ※基本理念・基本方針
基本理念の再確認を通して、利用者支援、そして職場づくりの在り方を再整理しながら新しい事業の組み立てをすすめる。
2. 職員・事業所間のチームワークの向上、協力体制の強化
童里夢と奏楽との連携・協力体制の強化 ※事業運営管理の平準化
業務の平準化 マニュアル化できる業務はマニュアル化する
「もっとも生産性が高く、効率が良い業務体制を実現する」
3. 人材育成・職場づくり
LM 研修（運営会議 2・運営会議 3）
lon1、1 (2) onM (Many) の実施・・・問題発見・把握、問題解決能力
研修参加への促進 研修計画、研修参加状況の見える化、職場への還元
ハラスメントについても引き続き学びを深め、お互いを尊重し合える職場風土（業務内容・職責・考え方などの違いはあってもお互いを尊重・協力し合える職場）を形成する。
4. 今後、新たな事業展開ができるための準備
※令和 5 年度は既存事業の運営基盤を固め、人材育成に注力し、新拠点整備に向けての具体的準備は中・長期的視点ですすめる。
定員の充足 ※利用者から選ばれる事業所（支援力・活動内容・工賃・ホスピタリティ）
予算管理 ※収支バランス（障害福祉サービス・就労支援会計収支）
支援力の向上 ※自ら学ぶ姿勢とサポート体制
直接支援・知識 記録 情報共有 チームワーク
情報発信力の向上（SNS の活用）
虐待・不適切支援、ハラスメント等の根絶
新規事業立上げのための情報収集、学習会の実施
5. 各事業の評価、課題を整理して改善に取り組む
（4）とリンクさせ中・長期的視点から事業運営を捉え、職場内に PDCA サイクルの定着を図る
※P（計画） → D（実行） → C（チェック） → A（改善・実行）
働く（日中活動） 一般就労を目指す、バリバリ働く、ゆるやかに働く、趣味・健康延伸活動、他
就労継続支援 B 型、生活介護（生産活動あり・なし）
暮らす 家族と暮らす、1 人で暮らす、GH で暮らす
生活の場所：GH
暮らしを支える支援：短期入所、家事援助、身体介護、通院等介助、福祉有償運送
余暇を楽しむ
外出支援：行動援護、移動支援